



世界最大のコーヒー生産量を誇るブラジル。そのコーヒー産業の中心にあるのが、長年にわたり取引市場として栄えてきた趣ある港町、サントスだ。郊外に広がるコーヒー農園、カップ・テイスターと呼ばれる品質鑑定を行う熟練職人、かつて貴族や文化人が集った華やかなカフェ、バリスタを目指す若者たち。コーヒーとともに生きる人々を通じ、コーヒーが培ったブラジルの歴史の一端を垣間みる。

珈琲に魅せられて

田中克佳=文・撮影

Text & Photo by Katsuyoshi Tanaka

